

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ



2018 知的財産報告書

Intellectual Property Report

C o n t e n t s

1	ごあいさつ	1
2	2018年の知的財産活動の重点課題	2
3	知的財産の事業への貢献	3
4	リスク対応情報	5
5	社外表彰	6
	資料	8
	会社概要	9

1 ごあいさつ

当社グループを取り巻く事業環境の変化はそのスピードや大きさを増し、激動の時代は継続し更に激化していくと認識しております。又、科学の進展と技術の改新があらゆる分野で進み、産官学や異業種間でのオープン・イノベーションも更に加速しています。このような中であるからこそ、引き続き企業理念を基盤とし、経営の最終目標である「真のグローバル企業」、「業界において全てに『断トツ』」の達成に向け、より一層イノベーション(技術、ビジネスモデル、デザイン)を強力に進め経営改革を推進してまいります。

現在、知的財産界においても、第四次産業革命と呼ばれる動きが進展する中、IoTの普及拡大や異業種間の知的財産に関する交渉の増加などに伴い新しい知財システム構築の動きが急がれるなど、グローバルでさまざまな制度改革が起こっています。

このような環境のもとで、当社グループは、知的財産を「企業経営を支える重要な経営資源」と位置付け、企業価値の最大化に貢献する知的財産活動の基本方針として、次の3つの取り組みを掲げております。

1. バリューチェーンとの繋がりに対応した戦略的知財活動
2. 知財情報分析による全体動向の予測
3. グループ・グローバルでの知財体制の強化

この基本方針に基づき、事業環境の変化を知財情報から予測し、バリューチェーン全体を知的財産により保護・活用する戦略的な知財活動を進めて参ります。

本報告書を通じて、皆様に当社グループの知的財産活動に対する理解を更に深めて頂ければ幸いです。

株式会社ブリヂストン
取締役 代表執行役 CEO
兼 取締役会長
津谷 正明



2 2018年の知的財産活動の重点課題

当社の知的財産本部では、「真に経営に貢献する知財」を目指し、以下の3点を2018年の重点課題として活動してまいります。

(1) バリューチェーンとの繋がりに対応した戦略的知財活動

既存事業の枠を超えて新たな顧客価値を提供するソリューションビジネスに於いて、バリューチェーンの川上から川下まで全体を守る包括的な知的財産活動を推進致します。

また、IoTの普及拡大や異業種間の知的財産に関する交渉の増加に対応するため、グローバル基準下での適正な営業秘密及び契約の管理体制を継続強化してまいります。

(2) 知財情報分析による全体動向の予測

当社を取り巻く市場環境の変化は、自動車業界における自動運転の進展や電動化の動きなどのモビリティ環境変化もあり、さらに勢いを増しています。こうした市場環境の中、他社動向に対してプロアクティブに対応していくため、知財情報分析（IPランドスケープ）による業界動向の予測を競合他社のみならず、関連業界団体含めて実施し、事業への影響を分析することで経営への発信力を強化致します。

(3) グループ・グローバルでの知財体制の強化

グループ・グローバル全体での知的財産活動を、事業・技術・イノベーションに係る全社経営戦略と、より整合性のあるものにすべく、グループでの知的財産ガバナンスを強化いたします。

各地域の知財部門の機能と責任を明確化し、グループ間の連携体制を整備・強化し、効率的かつ効果的な知財活動を推進いたします。

3

知的財産の事業への貢献

ここでは、2017年の知的財産活動の具体例として、ソリューション事業における知的財産活動をご紹介します

デジタル変革、ソリューションビジネスの構築・拡大への対応

当社は、イノベーションの促進を通じたグローバルで高い競争力を持つ商品の拡充のみならず、単なる商品単体の販売に終わらない、商品の組合せやデジタルソリューションツールを活用したサービスの提供などでお客様の困りごとと解決するソリューションビジネスの構築・拡大を図ってまいりました。

当社のソリューションビジネスの代表的な事例と、それに関連した知財活動について紹介致します。

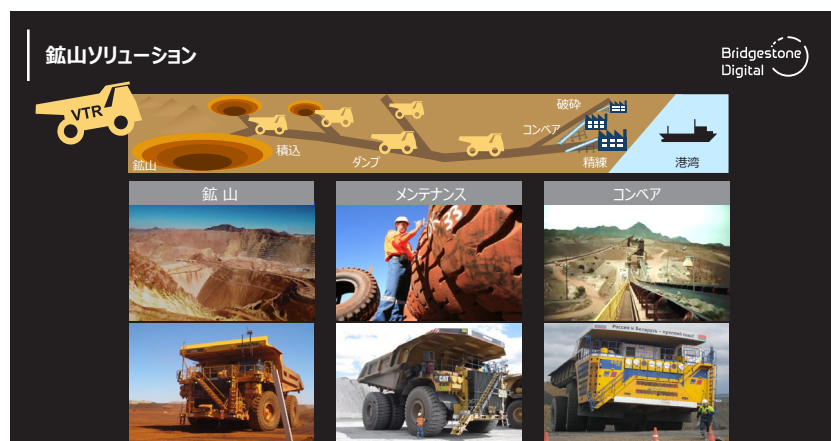
■ 鉱山ソリューション

鉱山の現場では、トン単位という巨大な生産現場である一方で、綿密な採算管理が行われています。鉱山で使用されるダンプトラックのタイヤがパンクすると、鉱山の操業自体が停止してしまうため、鉱山ソリューションは、「お客様のビジネスのダウンタイム」を困りごととしてとらえたソリューションを提供しています。

鉱山車両用タイヤには、空気圧や温度を測定するセンサー「B-TAG（ビータグ、Bridgestone Intelligent Tag）」を取り付け、タイヤの状態を監視し、タイヤトラブルによる操業停止時間の短縮に貢献します。

また、このB-TAGをタイヤ・リム情報資産管理ツール「TreadStat（トレッドスタット）」と連携させることにより、タイヤのローテーションなどをタイムリーに促して、タイヤのライフサイクルコストの管理を支援します。

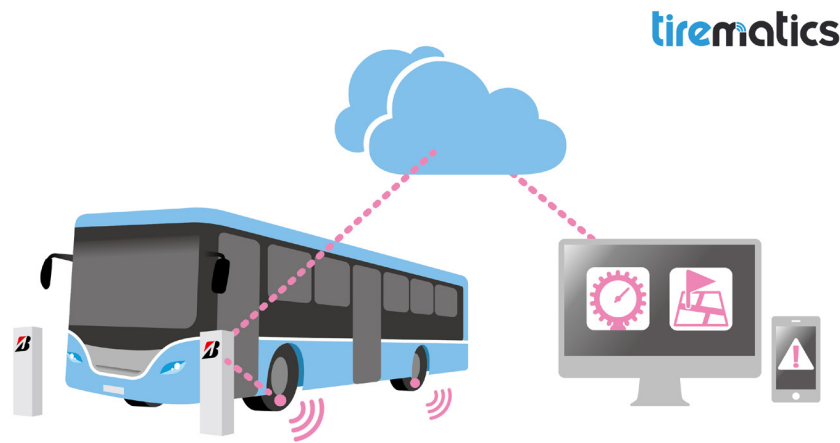
さらに、将来的には得られたデータをタイヤの商品開発にフィードバックすることも可能です。



<鉱山ソリューション>

■ 運送ソリューション

新品のタイヤを売るだけでなく、リトレッドタイヤ^{※1}と、タイヤのメンテナンスを組み合わせた「新品+リトレッド+メンテナンス」のパッケージプランを運送会社やバス事業者様に提案しています。これを効率的にサポートするのがデジタル技術です。当社では、お客様の基本情報やトラック・バス用タイヤに関する情報を管理する「Toolbox」、リトレッドタイヤの製造、品質、在庫の情報を管理する「BASys（ベイス）」、タイヤの状態を遠隔でリアルタイムにモニタリングする「Tirematics」といったデジタルソリューションを運用することで、当社の推進する運送ソリューションビジネスの質を更に高め、運送事業者様への提供価値の向上を実現できると考えています。



これらソリューションビジネスの競争力を維持するため、B-TAGなどのデバイスの権利化だけでなく、デジタルソリューションツールの知的財産による保護、他社との協業によって得られたデジタルデータの契約による管理、ソリューション事業によって得られる膨大なノウハウの特定と管理を進めることで、事業への貢献を進めてまいります。

また、これらのソリューションビジネスを推進するにあたり、知的財産本部にソリューション関連の専門窓口を設置するとともに、当社グループの従業員向け知的財産研修プログラムにおいてソリューションビジネス関連の研修プログラムを提供することで、ソリューションビジネスにおいても発明の掘り起こしを積極的に行い、関連部門との連携促進を図っています。

※1 リトレッドタイヤとは、使用済みのタイヤのトレッド部分を取り除き、新たにトレッドゴムを加硫・圧着して再使用できるようにしたタイヤのことです。リトレッドタイヤは、新品タイヤに比べて、環境保全の面で下記の優位性があります。

- 1.天然ゴムなど原材料の使用量が減少し、省資源となる。
- 2.タイヤ生産におけるCO2排出量削減が可能となる。
- 3.タイヤの寿命が延びるため、廃タイヤの削減にも寄与する。

4

リスク対応情報

当社グループでは、知的財産を企業の競争力を高めるための重要な経営資源と位置づけております。第三者による知的財産権侵害があった場合には、当社グループの製品差別化や競争優位性が確保されない等のリスクが想定されます。

従いまして、当社グループが保有している多数の知的財産権の保護、並びに当社グループの知的財産権に対する侵害の予防に努めております。

知的財産権侵害に対する当社グループの対応事例をご紹介します。

WANLIタイヤ社との特許権侵害訴訟 上海知識産権法院で当社が勝訴

当社は、中国の大手タイヤメーカーである広州市華南橡膠輪胎有限公司および広州豐力橡膠輪胎有限公司（以下総称して、WANLIタイヤ社）が、当社が特許権を持つSUVタイヤDUELER A/T REVO2のトレッドパタン^{※2}を使用してタイヤを製造・販売した行為は特許権侵害に該当するとして、2015年10月、上海知識産権法院に特許権侵害で提訴していました。その結果、当社の主張が認められ、2017年4月に、WANLIタイヤ社に対して特許権侵害行為を差し止めるための製造・販売の中止、金型の廃棄、及び損害賠償金の支払いを命じる判決が下されました。今回の判決は、知的財産専門の裁判所である知識産権法院によって下されたものであり、その妥当性は今後も尊重されるものです。

当社グループは知的財産の保護に努めており、当社グループの特許、商標、及びその他の知的財産の不正使用または侵害に対しては今後も厳正に対処していきます。そうした活動を通じて、お客様の安心・安全を最優先し、ブランド価値の維持・向上を図っていきます。

※2 タイヤが路面と直接接する部分に刻まれている溝の模様。

5

社外表彰

Top 100 グローバル・イノベーター 2017 選出

当社は、クラリベイト アナリティクス社が発表する「Top 100 グローバル・イノベーター 2017」に選出されました。Top 100 グローバル・イノベーターは、独創的な発明のアイデアを知的財産権によって保護し、事業化を成功させることで、世界のビジネスをリードする企業・機関トップ 100 を選出するもので、当社としては、2015 年、2016 年に続き 3 年連続での選出となります。

Top 100 グローバル・イノベーターは、4 つの評価軸を基本としています。「特許数」、「成功率」、「グローバル性」、「引用における特許の影響力」（分析対象は過去 5 年間。「グローバル性」のみ過去 3 年間）です。特許データベースから抽出された厳格かつ客観的なデータ、クラリベイト アナリティクスの評価基準に基づき、革新的であること、知的財産権保護の順守に努めている企業であることが認められました。当社グループは、企業経営を支える重要な経営資源として知的財産を位置付けており、今後も企業価値の最大化に貢献する知的財産活動を推進していきます。

グッドデザイン賞受賞



当社グループの2つの商品が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2017年度グッドデザイン賞^{※3}」を受賞しました。当社グループは、これまで196件のグッドデザイン賞を受賞しており、1997年からは21年連続で受賞しています。

当社グループは、知的財産権を効果的に活用することで、独自の優れた技術やデザイン等を知的財産として保護し、当社グループのブランド価値の維持・向上に努めてまいります。

□ 2017 年度 グッドデザイン賞 受賞商品



BATTLECRUISE H50

「BATTLECRUISE H50」は、大排気量、大重量のアメリカン・クルーザーのために専用開発したタイヤです。目指したのは「ロングライフ」「スムーズなハンドリング」「乗りやすさ」。リアタイヤは当社品「EXEDRA MAX」対比約2.7倍のロングライフを実現しました。300kg近い車体を低速でも高速でも切れ込みが少なくスッと旋回に入れるハンドリング性能、そしてVツインエンジン特有の振動を軽減させロングツーリングでも疲れにくく快適な乗り心地を追及しています。

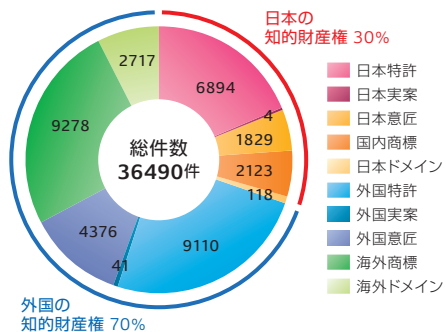


ビッケ ボーラー e

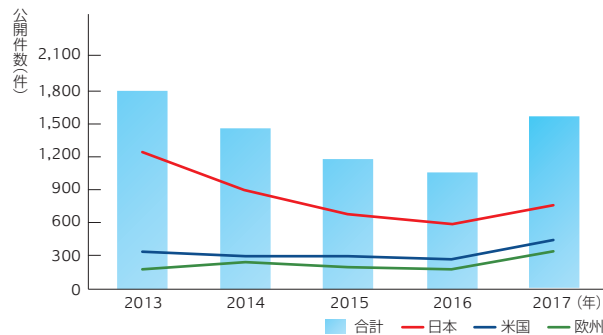
電動アシスト自転車「ビッケ ボーラー e」は、低床設計のフレームと前後20インチ小径タイヤの車体に、新開発した「スマートチャイルドシート」を搭載し、お客様の「安全性」「快適性」はもちろん、運転者の「走行安定性」「操作性」も追及しました。スマートな車体デザインと豊富なカラーラインアップ、さらに自転車を自分好みにスタイリングできるカラーパーツも用意し、家族だけのオリジナルコーディネートを楽しめます。

※3「グッドデザイン賞」は、1957年創設の「グッドデザイン商品選定制度」を発端とする日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の制度です。

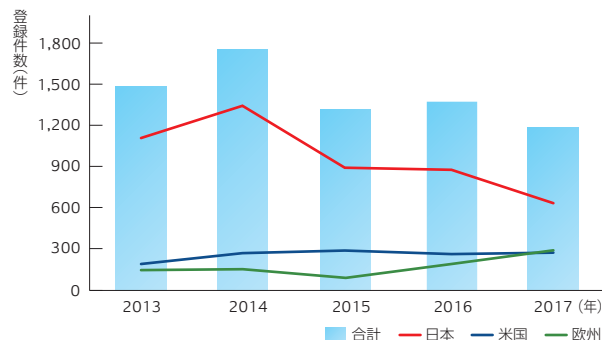
□ 知的財産権の総数(当社グループ会社※)



※(株)ブリヂストン、ブリヂストンサイクル(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、
ブリヂストンフローテック(株)、旭カーボン(株)、
Bridgestone Americas, Inc.、Bridgestone Europe NV/SA
2017年12月31日現在

□ 特許公開件数の推移
(当社グループ会社※ 日本・米国・欧州、2013年～2017年)

※(株)ブリヂストン、ブリヂストンサイクル(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、
ブリヂストンフローテック(株)、旭カーボン(株)、
Bridgestone Americas, Inc.、Bridgestone Europe NV/SA
2017年12月31日現在

□ 特許登録件数の推移
(当社グループ会社※ 日本・米国・欧州、2013年～2017年)

※(株)ブリヂストン、ブリヂストンサイクル(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、
ブリヂストンフローテック(株)、旭カーボン(株)、
Bridgestone Americas, Inc.、Bridgestone Europe NV/SA
2017年12月31日現在

当社グループが取得・保有している知的財産権は、上記に示すとおり、当社グループのグローバル展開にあわせ、外国での知的財産権が全体の約7割を占めています。

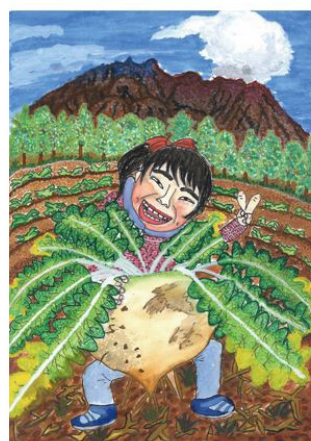
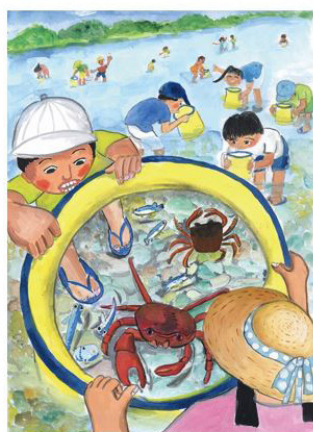
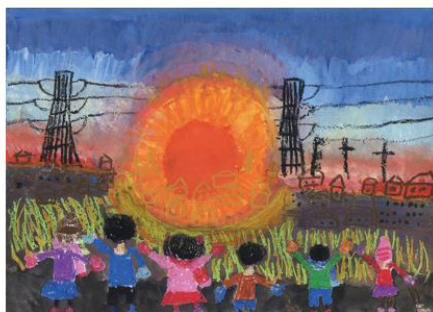
主な当社グループ会社※4の地域別の特許公開件数と特許登録件数の推移は左記に示すとおりです。当社グループは、質の高い特許取得を目指し、特許出願を厳選してまいりました。2017年については、開発スケジュールに沿った発明発掘・出願活動が活発であったため、公開件数は増加しました。登録件数については、従来からの特許出願の厳選により、質の高い特許取得を推進する一方、グローバルでの知財ポートフォリオ強化の為、欧米での登録件数が増加しました。

※4 (株)ブリヂストン、ブリヂストンサイクル(株)、ブリヂストンフローテック(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、旭カーボン(株)、BRIDGESTONE AMERICAS INC.、BRIDGESTONE EUROPE NV/SA

会社概要

社 名	株式会社ブリヂストン(BRIDGESTONE CORPORATION)						
本社所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号						
代表者	取締役 代表執行役 CEO 兼 取締役会長 津谷 正明						
設 立	1931(昭和6)年3月1日						
資本金	1,263億5,400万円						
従業員数	13,706名*						
連結従業員数	142,669名*						
主な事業内容	<table><tr><th>事業区分</th><th>内 容</th></tr><tr><td>タイヤ</td><td>乗用車用、トラック・バス用、建設・鉱山車両用、産業機械用、農業機械用、航空機用、二輪自動車用のタイヤ・チューブ、タイヤ関連用品、リトレッド材料・関連技術、自動車整備・補修、タイヤ原材料 ほか</td></tr><tr><td>多角化</td><td>(化工品) 自動車関連部品、ウレタンフォーム及びその関連用品、電子精密部品、工業資材関連用品、建築資材関連用品 ほか (BSAM多角化) BRIDGESTONE AMERICAS, INC. が統括する屋根材事業 ほか (スポーツ用品) ゴルフボール、ゴルフクラブ、その他スポーツ関連用品 ほか (自転車) 自転車、自転車関連用品 ほか (その他) ファイナンス ほか</td></tr></table>	事業区分	内 容	タイヤ	乗用車用、トラック・バス用、建設・鉱山車両用、産業機械用、農業機械用、航空機用、二輪自動車用のタイヤ・チューブ、タイヤ関連用品、リトレッド材料・関連技術、自動車整備・補修、タイヤ原材料 ほか	多角化	(化工品) 自動車関連部品、ウレタンフォーム及びその関連用品、電子精密部品、工業資材関連用品、建築資材関連用品 ほか (BSAM多角化) BRIDGESTONE AMERICAS, INC. が統括する屋根材事業 ほか (スポーツ用品) ゴルフボール、ゴルフクラブ、その他スポーツ関連用品 ほか (自転車) 自転車、自転車関連用品 ほか (その他) ファイナンス ほか
事業区分	内 容						
タイヤ	乗用車用、トラック・バス用、建設・鉱山車両用、産業機械用、農業機械用、航空機用、二輪自動車用のタイヤ・チューブ、タイヤ関連用品、リトレッド材料・関連技術、自動車整備・補修、タイヤ原材料 ほか						
多角化	(化工品) 自動車関連部品、ウレタンフォーム及びその関連用品、電子精密部品、工業資材関連用品、建築資材関連用品 ほか (BSAM多角化) BRIDGESTONE AMERICAS, INC. が統括する屋根材事業 ほか (スポーツ用品) ゴルフボール、ゴルフクラブ、その他スポーツ関連用品 ほか (自転車) 自転車、自転車関連用品 ほか (その他) ファイナンス ほか						

※) 2017年12月31日現在



第15回ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール
ブリヂストン大賞 受賞5作品

株式会社ブリヂストン

知的財産本部

東京都中央区京橋 3-1-1 〒104-8340

電話 (03)6836-3250 FAX (03)6836-3251

<https://www.bridgestone.co.jp/>